

戦

四年

画数 13
筆順 ツ 豎 単 戦 戦 戦
オン セン
クン いくさ・たたかひ

単 戦 戦 戦



「弾き弓」の形を表した「単（年576）」と、「戈」の形を表した「戈」とを組み合わせて作った字です。

「弾き弓や戈を使ってたたかおう」という意味にも使います。また、「たたかい（いくさ）」という意味にも使います。例むかしの戦、戦争、空中戦、戦況。

また、スポーツの「試合」のことに使います。例巨人・阪神戦、早慶戦。

成り立ち

使い方

▽むかしから今に至るまで、ずいぶんたくさん戦争がありました。人間はどうも戦うことが好きなようです。けれど戦は人間に不幸をもたらします。平和であってこそ、人間は人間らしく生きられるのです。早く戦争のない世界がおとずれますように。

熟語例

▽戦争（いくさ。武器をもって戦うこと。）

▽空中戦（空中で戦うこと。とくに、空中で飛行機どうしが行う戦い）

▽戦況（戦争の状況。「戦況は、次第にわが軍に有利になって来た」というふうには、つかいませぬ。）

▽戦術（戦争の技術。戦いに勝つための方法。「むかしから、いろいろな人が戦術について考えました。大むかしでは孫子の兵法というのが有名です。現代では戦術もずいぶん変わって来ましたが」というふうには、つかいませぬ。）

▽戦災（戦争で受けた災害。「戦災で家を失った人たちは、それはみじめな思いをしました」というふうには、つかいませぬ。）

使い方

選

四年

画数 15
筆順 ヲ 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔
オン セン
クン えらぶ

𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔 𠂔



糸まきから糸を引き出した形の「己（紀4年479）」二つと、「いっしょ」の意味の「共（年491）」と、「道を進んで行く」意味の「辵」とを組み合わせて作った字。

「二つの糸まきの糸のうち、どちらを使おうと、いっしょに「えらぶ」こと」を表した字です。「辵」は「行く」という意味と、「行う」という意味とありますが、ここでは「行う」意味で、「えらぶ」ことを表しています。

「選は、古い字形は「選」。「物を供える」ことを表した字で、「選」は「物を供えて人に送る」のが本義の字で、そのため「えらぶ」の意になったものである。」

▽母の日のプレゼントに、どの品がいいかと、あれこれ考えてみましたが、しまいにおかあさんの好きなバラの花を選びました。

▽学級会の委員長を選挙で決めることになりました。ぼくたちのクラスでは、代表に山田君を選出しました。みんな応援します。

熟語例

▽選挙（投票などで、人を選ぶこと。）

▽選出（選出すること。）

▽選択（適当なものを、どちらかを選び取ること。「行くか、止めるか、まだ選択の余地はあるから、良く考えて決めなさい」というふうには、つかいませぬ。）

▽選任（適当な人を選んで仕事などを任せること。「この役目にふさわしい人を選任しました」というふうには、つかいませぬ。）

▽選抜（すぐれたものを選んで抜き出すこと。「今年も選抜高校野球がはじまった」といいます。）

▽選手（代表として選ばれた人。「ぼくはリレーの選手になりました」というふうには、つかいませぬ。）